

標準ラジオ、 プレミアムラジオ



JOHN DEERE

オペレータマニュアル

標準ラジオとプレミアムラジオ、MY18
版

OMAL226499 K7 版 (JAPANESE)

John Deere GmbH & Co. KG
John Deere Werk Mannheim

世界各国版
PRINTED IN U.S.A.



概要

序文

このマニュアルをよく読んで、ラジオシステムの正しい操作方法を習得してください。この取扱説明書は他の言語版を入手できる場合があります。注文は John Deere 取扱店にお問い合わせください。

このマニュアルは機械の常備部品と見なし、機械を売却する場合は一緒に引き渡してください。

「仕様」セクションに用意されている空欄に製品識別番号 (P.I.N.) を記入してください。すべての数字を正確に記入してください。盗難にあった場合、お客様の所有物を探し出す上でこの番号が非常に重要になることがあります。したがって、この番号を他のところにも記録しておくことをお勧めします。

OULXBER,0002972-40-09FEB16

目次

	ページ		ページ
識別図と機能		MP3 の操作 (プレミアムラジオのみ)	
識別図	00-1	MP3 の操作 (一般情報)	30-1
安全および一般情報		USB データキャリアの作成	30-1
重要な注意事項	05-1	ID3 タグ	30-1
使用目的	05-1	USB データキャリアの接続と MP3 モードの 開始	30-1
交通安全	05-1	トラック情報のスクロールの ON/OFF (SCRL)	30-1
廃棄	05-1	MP3/WMA ファイルの再生	30-2
ラジオ受信のための基本設定	05-1		
一般操作		Bluetooth® の操作 (プレミアムラジオのみ)	
コントロールと計器	10-1	Bluetooth® の操作、一般情報	35-1
ラジオの ON/OFF 操作	10-2	Bluetooth® の設定	35-1
ラジオ照明の輝度調整 (ILLUM)	10-2	Bluetooth® の ON/OFF 操作 (BT MODE)	35-1
音量調整	10-2	接続の種類の選択 (CON-TYPE) とデバイス のペアリング (BT-PAIR)	35-1
ラジオのミュート (MUTE)	10-2	現在接続されている Bluetooth® デバイス (BT-JOIN)	35-2
確認ビープ音 ON/OFF 操作 (BEEP)	10-2	電話帳データの転送とアクセス	35-2
電源投入時の最大音量の調整 (ONVOL)	10-3	電話の受信と発信	35-2
音響の調整	10-3	オーディオファイルの再生 (BT AUDIO)	35-3
左 / 右音量配分の調整 (BAL)	10-3		
フロント / リア音量配分の調整 (FAD)	10-3	SiriusXM® 衛星受信 (北米のみ)	
ラウドネス ON/OFF 操作 (LD)	10-3	SiriusXM® ラジオ、一般情報	40-1
音響設定の復元	10-3	XM シリアル番号の表示	40-1
時計のリセット	10-4	XM ラジオモード	40-1
外部ソース (プレミアムラジオ)	10-4	XM ラジオモードの開始	40-1
		XM バンドの選択 (メモリレベル)	40-1
ラジオの操作		XM チャンネルの選択	40-1
ラジオ受信機の設定	15-1	XM チャンネルの保存	40-2
局名	15-2	保存されている XM チャンネルの選択	40-2
ラジオモードの開始	15-2	XM チャンネルのカテゴリモードの ON/OFF (CAT)	40-2
RDS 機能の ON/OFF	15-2	XM チャンネルカテゴリの選択	40-2
周波数バンド / メモリレベルの選択	15-2	キー機能の設定 (KEY PRG)	40-2
選局	15-2	システム情報	40-2
サーチ機能の感度	15-2		
放送局の保存	15-3	仕様	
保存されている放送局の選択	15-3	仕様	50-1
保存されている放送局のスクラン (PRSTSCAN)	15-3	製品識別番号と SiriusXM® シリアル番号	50-1
利用可能な放送局の周波数帯のスクラン (BANDSCAN)	15-3	エラーメッセージと故障	50-1
プログラムタイプ (PTY)	15-4	適合宣言	50-2
干渉している高音域のカット (HCUT)	15-4	ユーラシア経済連合	50-3
キー機能の設定 (KEY PRG)	15-4		
交通情報 (欧州のみ)			
交通情報 (欧州のみ)	20-1		
外部音源			
外部音源	25-1		

本文書は翻訳版です。このマニュアルに掲載の全ての情報、画像、仕様は、
発行時の情報に基づいています。予告なしに変更されることがあります。

識別図と機能

識別図



標準ラジオ

LX299208—UN—26APR17



プレミアムラジオ

LX299207—UN—13JUN17

主要機能	ラジオ	外部デバイスの接続	USB	Bluetooth®	SAT ラジオ
標準ラジオ (MY18 版)	X	X	-	-	-
プレミアムラジオ (MY18 版)	X	X	X	X	X*
*SAT ラジオが提供されている地域のみで利用可能					

OULXBER,0002D7D-40-04MAY17

安全および一般情報

重要な注意事項

取扱説明書：ラジオの操作前にこのマニュアルをよく読み、ラジオについて理解してください。今後の参照のため、この取扱説明書を車両内に保管してください。

ラジオ周波数 (チューナーバンド)：ラジオがフィールド取り付けの場合、レシーバが地域で受信可能な周波数バンドと適合することを取扱店が確認する必要があります。そうでなければ、一部のラジオ局 / サービスを受信できません。

OULXBER,0002D9C-40-13JUN17

使用目的

このラジオは、ユーティリティ車両の 12 V 車載システム電圧で作動し、1-DIN スロットに取り付けるように設計されています。

OULXBER,00029BC-40-09FEB16

交通安全

 **注意：**交通安全は最優先事項です。交通条件や走行状況の許す場合のみ、ラジオシステムを操作してください。車両の走行前にラジオについて理解してください。走行時は適切な音量を選択してください。

 **注意：**作業時はラジオに気を取られないでください。細心の注意の必要な手順のときはラジオを OFF にしてください。

 **注意：**ラジオの音量を正しく調整して、警察、消防、救急のサイレンが遅滞なく聞こえるようにしてください。

 **注意：**ラジオの音量設定が大きすぎると、聴力を損なう恐れがあります。

OULXBER,00029BD-40-09FEB16

廃棄

古いラジオシステムを家庭ごみとして廃棄しないでください。

古いラジオシステムの廃棄に対応した回収システムを使用してください。

OULXBER,00029BE-40-09FEB16

ラジオ受信のための基本設定

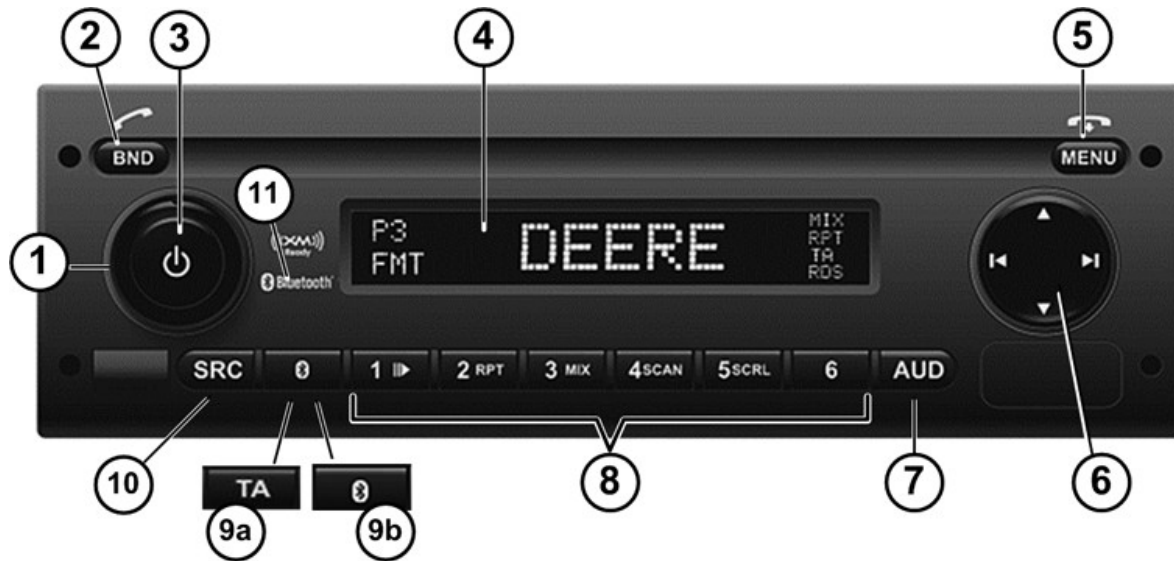
重要：ラジオの受信機は、国の周波数帯 (チューナーバンド) に合わせてチューニングする必要があります。周波数帯 (チューナーバンド) を適切に設定しないかぎり、どの局からも受信することはできません。

通常は、ラジオは正しく設定された状態で出荷されています。しかしごくまれに、設定のリセットが必要となることもあります。セクション 15 の「ラジオ受信機の設定」、「ラジオの操作」を参照してください。

OULXBER,00029BF-40-09FEB16

一般操作

コントロールと計器



LX299205—UN—26APR17

位置	名称	機能
1	音量コントロール	
2	BND	短く押すと、メモリレベルまたは周波数バンドが選択されます。 押し続けると、「Travelstore」機能が起動します。
	Bluetooth® を使用、電話が現在ペアリングされている場合	電話の受信
3	On-off キー	短く押すと、ラジオが ON に切り替わります。 作動中に短く押すと、ラジオがミュートされます。 押し続けると、ラジオが OFF に切り替わります。
4	ディスプレイ	ディスプレイを切り替えます。
5	メニュー	基本設定用のメニューが表示されます。
	Bluetooth® を使用、電話が現在ペアリングされている場合	通話を拒否または終了します。
6	マルチファンクションロッカー スイッチ	ディスプレイ内を移動したり、機能を切り替えます。
7	AUD キー	短く押すと、音質調整 (バス、ミッドレンジ、トレブル)、バランス、フェード*、ラウドネス設定用のオーディオメニューが表示されます。 押し続けると、工場出荷時の音響設定が復元されます (トレブルとバスは現在使用されている音源に対してのみ)。
8	ラジオモード、1 - 6 キーブロック 再生モード、キー 1 再生モード、キー 2 再生モード、キー 3 再生モード、キー 4 再生モード、キー 5	プリセット局キー 一時停止/再生 トラックの繰り返し ランダム (トラックのミックス) トラックのスキャン トラック情報のスクロールを ON、ディスプレイを ON/OFF します。
9a	TA キー	ユーザー / オーディオメニューから現在の音源に戻ります。ラジオスキャン機能を終了します。 交通情報の優先の ON/OFF を切り替えます。提供中の交通情報をキャンセルします (欧州のみ)。
9b	Bluetooth® キー (プレミアムラジオ)	Bluetooth® 機能の ON/OFF を切り替えます。
10	SRC キー	デバイスが接続され、オンになっている場合は、ラジオと AUX (モデルによっては、さらに USB、BT オーディオ、XM) 間でソース選択。
11	Bluetooth® および XM (SAT レシーバ)	プレミアムラジオのフェイスプレートのブランド表示

*フェードは、フロントスピーカーとリアスピーカーが接続されている場合のみ設定できます。

Bluetooth は Bluetooth SIG の商標です。

OULXBER,0002D79-40-13JUN17

ラジオの ON/OFF 操作

ラジオを ON または OFF にする方法はいくつかあります。

ON/OFF キーによる ON/OFF 操作

ON 操作 ON/OFF キーを押します。
OFF 操作 ON/OFF キーを 2 秒以上押し続けます。

イグニッションによる ON/OFF 操作

ON 操作 (イグニッション ON) イグニッションを OFF にすると、ラジオは自動的に OFF になります。この場合、イグニッションを再度 ON にすると、ラジオも自動的に ON になります。
OFF 操作 (イグニッション OFF)

注記：イグニッションが OFF の場合でも、ON/OFF キーを使用すると、ラジオを ON にすることができます。車両バッテリーの電力を維持するため、あらかじめ設定された時間が経つと、ラジオは自動的に OFF になります (このセクションの「ターンオフ時間の調整」参照)。

ターンオフ時間の調整 (HOUR)

- 1.MENU キーを押してメニューを開きます。
- 2.HOUR と現在の時刻設定が表示されるまで、MENU キーを数回押します。
- 3.音量コントロールを反時計回りまたは時計回りに回して、ターンオフ時間を 1~60 分の範囲で調整します。
- 4.MENU キーを数回押して、メニューを終了します。

OULXBER,00029C2-40-09FEB16

ラジオ照明の輝度調整 (ILLUM)

注記：この設定は、車両の自動輝度調整が利用できない場合に使用されます。

バックライトが変化するため、ILLUM メニューは常に利用可能で、ラジオを時間モードでオンにした場合など、CAN バスがアクティブではない場合に使用されます。

計器ライトに対して輝度が自動的に調整されない場合は、この設定を ILLUM メニューから手動で行うことができます。そうするには、次の操作を行います。

- 1.MENU キーを押してメニューを開きます。

- 2.ILLUM と現在の設定が表示されるまで、MENU キーを数回押します。
- 3.ボリュームコントロールを反時計回りまたは時計回りに回して、輝度を -5 (最小) から +5 (最大) の範囲で調整します。
- 4.MENU キーを数回押して、メニューを終了します。

OULXBER,00029C3-40-10FEB16

音量調整

音量は 0 (なし)~32 (最大) の範囲で段階的に調整できます。

音量調整

音量を上げる 音量コントロールを時計回りに回します。
音量を下げる 音量コントロールを反時計回りに回します。

注記：音量 0 で電源をオフにした場合でも、ラジオは音量 0 で電源が投入されません。

OULXBER,00029C4-40-10FEB16

ラジオのミュート (MUTE)

ON/OFF キー (3) を短く押すと、ラジオはミュートされます。オーディオ出力はその後完全に抑制されます。ON/OFF キーを再度押すと、オーディオ出力は最後の音量設定に戻ります。

ラジオのミュート

ミュート機能の作動 (サウンド OFF) ON/OFF キーを短く押します。
ミュート機能の解除 (サウンド ON) ON/OFF キーを再度短く押すか、音量コントロールを反時計回りまたは時計回りに回します。

注記：車両が再始動された場合、ミュート機能はキャンセルされます。車両を再始動しないでラジオをオフにしてオンに戻した場合も同様です。

OULXBER,00029C5-40-10FEB16

確認ビープ音 ON/OFF 操作 (BEEP)

特定の操作 (キーを押し続けるなど) の後、確認警告音が鳴ります。この確認警告音は OFF にすることができます。

1. **MENU** キーを押してメニューを開きます。
2. **BEEP** と現在の設定 (**ON** または **OFF**) が表示されるまで、**MENU** キーを数回押します。
3. ボリュームコントロールを反時計回りまたは時計回りに回して、**ON** から **OFF** またはその逆に切り替えます。
4. **MENU** キーを数回押して、メニューを終了します。

OULXBER,00029C6-40-09FEB16

電源投入時の最大音量の調整 (ONVOL)

ラジオシステムを **ON** にしたときの最大音量は **ONVOL** メニューで調整できます。基本的には、電源投入時の最大音量設定を超えていない限り、最後に選択されていた音量が電源投入時に使用されます。超えている場合は、最大音量設定が使用されます。

注記：電源投入時の最大音量は 5～25 の範囲で調整できます。

1. **MENU** キーを押してメニューを開きます。
2. **ONVOL** と現在の設定が表示されるまで、**MENU** キーを数回押します。
3. ボリュームコントロールを反時計回りまたは時計回りに回して、電源投入時の最大音量を 5～25 の範囲で調整します。
4. **MENU** キーを数回押して、メニューを終了します。

OULXBER,00029C7-40-09FEB16

音響の調整

バス (BASS) とトレブル (TREB) の調整

1. **AUD** キーを押して、音響設定用のメニューを開きます。
2. **BASS** または **TREB** と現在の設定が表示されるまで、**AUD** キーを数回押します。
3. 音量コントロールを反時計回りまたは時計回りに回して、値を +7 から -7 の範囲で調整します。
4. **AUD** キーを数回押して、メニューを終了します。

ミドル (MID) の調整

1. **AUD** キーを押して、音響設定用のメニューを開きます。
2. **MID** と現在の設定が表示されるまで、**AUD** キーを数回押します。
3. 音量コントロールを反時計回りまたは時計回りに回して、値を +7 から -7 の範囲で調整します。
4. **AUD** キーを数回押して、メニューを終了します。

OULXBER,00029C8-40-09FEB16

左 / 右音量配分の調整 (BAL)

1. **AUD** キーを押して、音響設定用のメニューを開きます。
2. **BAL** と現在の設定が表示されるまで、**AUD** キーを数回押します。
3. 音量コントロールを反時計回りまたは時計回りに回して、値を +10 から -10 の範囲で調整します。
4. **AUD** キーを数回押して、メニューを終了します。

OULXBER,00029C9-40-09FEB16

フロント / リア音量配分の調整 (FAD)

この調整は、フロント / リアスピーカー付き車両のみで利用できます。

1. **AUD** キーを押して、音響設定用のメニューを開きます。
2. **FAD** と現在の設定が表示されるまで、**AUD** キーを数回押します。
3. 音量コントロールを反時計回りまたは時計回りに回して、値を +10 から -10 の範囲で調整します。
4. **AUD** キーを数回押して、メニューを終了します。

OULXBER,00029CA-40-10FEB16

ラウドネス ON/OFF 操作 (LD)

ラウドネスを **ON** にすると、音響が改善されます。小音量設定でも音響を均一化するため、低音と高音の比率が変更されます。大音量設定でラウドネスを **ON** にすることは推奨されません。

1. **AUD** キーを押して、音響設定用のメニューを開きます。
2. **LD** と現在の設定 (**ON** または **OFF**) が表示されるまで、**AUD** キーを数回押します。
3. 音量コントロールを反時計回りまたは時計回りに回して、**ON** から **OFF** またはその逆に切り替えます。
4. **AUD** キーを数回押して、メニューを終了します。

OULXBER,00029CB-40-09FEB16

音響設定の復元

すべての音響設定は、工場出荷時の設定に復元できます。

1. **AUD** キーを押して、音響設定用のメニューを開きます。
2. **RESET N** が表示されるまで、**AUD** キーを数回押します。
3. 音量コントロールを時計回りに回して、**RESET Y** を選択します。約 2 秒後にすべての音響設定がリセットされます。
4. **AUD** キーを数回押して、メニューを終了します。

注記： **AUD** キーを 2 秒以上押し続けると、現在使用されている音源に対してのみオーディオ設定がリセットされます。

OULXBER,00029CC-40-09FEB16

時計のリセット

車両バッテリーまたはラジオ自体の接続を外した場合、ラジオを操作するにはすぐに時計をリセットして「SRC」ボタンを押す必要があります。

CommandCenter™ 装備の車両のみ：

1. 「IGN」をオンにします。
2. ラジオをオンにします。
3. 情報「TIMESET」がラジオに表示され、2 秒後に時計が表示されます。
4. 時間が CAN バス (GPS) 経由で使用可能な場合は、この時間が表示され、「SRC」ボタンを押して確定する必要があります。

時計の手動調整：

1. 初回起動後、「時」が点滅します。
2. 音量コントロール ボタンで「時」を設定します。
3. 「SRC」ボタンで確定します。
4. 「分」が点滅します。音量コントロールボタンで「分」を設定します。
5. 「SRC」ボタンで確定して保存します。
6. 設定の終了。

CommandCenter は Deere & Company の商標です。

OULXBER,0002DC9-40-14SEP17

外部ソース (プレミアムラジオ)

外部音源によっては、ポートから充電を行います。外部オーディオソースの例として、ポータブル CD プレーヤー、MD プレーヤー、MP3 プレーヤーがあります。

注記：オーディオ USB ポートを介してスマートフォンやタブレットなどの一部の外部オーディオソースに充電することはサポートされていません。サポートされていないデバイスに充電しようとすると、USB ポートが遮断されます。回復するには、デバイスを取り外してラジオの電源を入れ直す必要があります。



AUX および USB 入力 (例)

RXA0143013—UN—03JUL14

AUX 入力の有効化

注記：外部音源は、オーディオ機器が外部 AUX 入力に接続されている場合のみ選択できます。

AUX 入力 (A) を使用して外部音源を接続し、ラジオに AUX が表示されるまで数回 SRC ボタンを押します。

USB 入力の起動

注記：USB 音源は、USB 機器が外部 USB 入力に接続されている場合のみ選択できます。

USB 入力 (B) を使用して USB 音源を接続し、ラジオに USB が表示されるまで数回 SRC ボタンを押します。

AUX 入力音量の調整

接続した外部音源のボリュームは、SRC ボタンで音源を入力として選択した後、ラジオのボリュームノブを使用して調整できます。

1. 取り付けた音源が表示されるまで、SRC ボタンを数回押します。
2. 「MENU (メニュー)」ボタンを押します。「GAIN」および現在の設定が表示されます。
3. ボリュームコントロールノブを反時計回りまたは時計回りに回して、値を -9 から +9 の範囲で調整します。
4. MENU ボタンを数回押して、メニューを終了します。

Bluetooth® の設定

Bluetooth® を使用するためには以下の手順を行う必要があります。

注記：Bluetooth® 接続は、Bluetooth® が有効化されたデバイスまたは外部オーディオソースに関連するもののみ使用できます。

注記：Bluetooth® デバイスをラジオとペアリングしているときに、ラジオに変更を加えると、ペアリングプロセスはキャンセルされます (例：放送局や周波数の変更)。

1. デバイスで Bluetooth® を有効にします。
2. 「BT MODE」が表示されるまで、「MENU」ボタンを押します。
3. 「BT ON」または「BT OFF」になるまで 2 秒間待ちます。音量コントロールノブを時計回りまたは反時計回りに回して、Bluetooth® をオンまたはオフにします。ディスプレイウィンドウが変わるまで最長で 5 秒かかることがあります。
4. ディスプレイに「CON-TYPE」が表示されるまで「MENU」ボタンを押します。接続の種類を電話 / オーディオ (デフォルト) から選択します。
5. デバイスをペアリングするには、「BT Pair」が表示されるまでメニューボタンを押します。
6. デバイスに指定されている PIN を入力します。

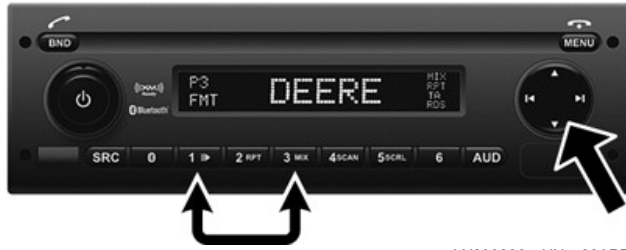
ペアリング処理は完了までに最大 5 分間かかります。ペアリング中は、Bluetooth® のシンボルが点滅します。デバイスまたは外部オーディオソースとのペアリングに成功すると、電話の通話とラジオシステムを介したオーディオストリーミングの受信が可能になります。デバイスの情報 (連絡先、発着信履歴、音楽など) は CommandCenter™ には転送されません。

デバイス/外部オーディオソースをペアリングする方法について詳しくは、接続するソースを選択してデータを転送します。このオペレータマニュアルのこのセクションの「Bluetooth® デバイスと第 4 世代 CommandCenter™ のペアリング」を参照してください。

OULXBER,0002D81-40-13JUN17

ラジオの操作

ラジオ受信機の設定



LX299206—UN—26APR17

重要： ラジオレシーバは、国の周波数帯 (チューナーバンド) に合わせてチューニングする必要があります。周波数帯 (チューナーバンド) を適切に設定しないかぎり、どの局からも受信することはできません。

設定手順：

1. エンジンを始動しないでイグニッションをオンにします。

- ラジオを OFF にします。
- 局ボタン (1) と (3) を同時に押したままにします。
- ラジオを ON にすると、「SETUP」と表示されます。
- 局ボタン (1) と (3) を放します。
- 現在の周波数帯が表示されるまで、「メニュー」キーを数回押します。(「EUROPE」、「NAFTA」、「SOTHAMRC」、「MESTAFRC」、「APAC」、「TAIWAN」、「PHILIPIN」、「AUSTRLNZ」等)。
- マルチファンクションロッカースイッチ (右側の矢印) で周波数帯を変えることができます。ラジオを操作する国に合わせて周波数帯を選択します (表を参照)。
- 正しい周波数帯を選択した後は、このメニューでは何も設定せず、ラジオを OFF にして設定の変更内容を保存してください。

国	周波数帯 (チューナーバンド)	国	周波数帯 (チューナーバンド)
オーストリア ベルギー ブルガリア スイス チェコ共和国 ドイツ デンマーク エストニア スペイン フィンランド フランス 英国 北アイルランド クロアチア ハンガリー	イタリア カザフスタン リトアニア ルクセンブルグ ラトビア オランダ ポーランド ポルトガル ルーマニア ロシア セルビア スウェーデン スロバキア トルコ ウクライナ	アルゼンチン ボリビア ブラジル ガイアナ ニカラグア ウルグアイ ベネズエラ	SOTHAMRCA
カナダ ドミニカ共和国 メキシコ 米国	NAFTA	アルメニア エチオピア イスラエル オマーン 南アフリカ ザンビア	MESTAFRC
台湾	TAIWAN	中国 日本 韓国	APAC
		オーストラリア ニュージーランド	AUSTRLNZ
		フィリピン	PHILIPIN

問題：

解決方法

設定メニューがディスプレイに表示されない。通常のラジオモードはアクティブになっている。

ラジオを ON にする際に、2 つのボタンを同時に押したかどうか確認してください。

設定メニューに希望する国が表示されない。

これは正常です。ディスプレイには 8 種類の設定しか表示されず、それぞれの設定が複数の国を表しています。表を参照してから選択を行ってください。

設定内容が保存されていない。

CAN バスにより CommandCenter に接続されているラジオは、関連ソフトウェアにより自動的に設定を読み込みます。この場合は、CommandCenter で設定を行う必要があります。

ラジオのディスプレイに何も表示されない。

ラジオが操作できる状態になっているか確認してください。「DIM 機能」が「DIM ON」に設定されているか確認してください。

OULXBER,0002D7F-40-13JUN17

局名

このラジオシステムには RDS ラジオレシーバが装備されています。多くの FM 局の送信する信号には、プログラムだけではなく、局名やプログラムタイプ (PTY) などの他の情報も含まれます。

受信した場合、局名が表示されます。

OULXBER,00029CE-40-10FEB16

ラジオモードの開始

ラジオシステムが現在別のモードになっている場合は、次の操作を行います。

- **BND** キーを 1 回押すか、**RADIO** が表示されるまで **SRC** キーを数回押します。

現在の周波数または局名が表示されます。

OULXBER,00029CF-40-09FEB16

RDS 機能の ON/OFF

RDS 機能により、ラジオシステムの性能範囲が拡張されます。

- **AF** (代替周波数) : RDS 機能が ON の場合、ラジオシステムは、選択されている放送局について最良の受信可能な周波数をバックグラウンドで検索します。
- **REG** (地域) : 時間帯によって、一部のラジオ局はプログラムを地域向けプログラムに分割し、異なるコンテンツを提供します。REG 機能が ON の場合、ラジオシステムは、異なるプログラムコンテンツを送信している代替周波数に切り替わりません。

注記 : RDS (AF) は工場初期設定では ON になっています。REG はメニューから個別に ON または OFF にする必要があります。RDS が ON の場合のみ、REG を ON にすることができます。

RDS (AF) の ON/OFF 操作

1. ラジオモード (FM 周波数バンド) を選択します。
2. **MENU** キーを押してメニューを開きます。
3. **RDS** と現在の設定 (**ON** または **OFF**) が表示されるまで、**MENU** キーを数回押します。
4. 音量コントロールを反時計回りまたは時計回りに回して、ON から OFF またはその逆に切り替えます。
5. **MENU** キーを数回押して、メニューを終了します。

REG の ON/OFF 操作

1. ラジオモード (FM 周波数バンド) を選択します。
2. **MENU** キーを押してメニューを開きます。
3. **REG** と現在の設定 (**ON** または **OFF**) が表示されるまで、**MENU** キーを数回押します。

4. 音量コントロールを反時計回りまたは時計回りに回して、ON から OFF またはその逆に切り替えます。
5. **MENU** キーを数回押して、メニューを終了します。

注記 : RDS コンフォート機能が ON のときは、「RDS」と表示されます。

OULXBER,00029D0-40-10FEB16

周波数バンド / メモリレベルの選択

このラジオシステムでは、異なる周波数バンドのプログラムを受信できます (表参照)。

- FM 周波数帯では 3 つのメモリレベルを利用できます。
- AM/AMT、MW/MWT、LW/LWT 周波数帯では、それぞれに 2 つのメモリレベルを利用できます。
- WX 周波数帯では 1 つのメモリレベルを利用できます。
- 各メモリレベルに 6 つの放送局を保存できます。

BND キーを押すと、周波数バンドまたはメモリレベル間で切り替わります。

地域 :	周波数バンド :				
	FM	AM	WX	MW	LW
NAFTA 各国	X	X	X		
ヨーロッパ	X			X	X
その他の地域	X	X			
メモリレベル :	FM1、 FM2、 FMT	AM、 AMT	WX	MW、 MWT*	LW、 LWT*
*EU のみ					

OULXBER,00029D1-40-12FEB16

選局

選局方法は 2 つあります。

- **自動サーチ**、◀/▶ キーを使用
このセクションの「サーチ機能の感度設定 (SENS)」を参照してください。
- **手動選局**、▲/▼ キーを使用。

また、このセクションの「キー機能の設定 (KEY PRG)」を参照してください。

OULXBER,00029D2-40-10FEB16

サーチ機能の感度

この機能は選局に関連しています。

自動サーチ

サーチ機能の感度設定 (SENS)

1. ラジオモードを選択します。
2. **MENU** キーを押してメニューを開きます。
3. **SENS** と現在の設定 (**LO** (低感度) または **DX** (高感度)) が表示されるまで、**MENU** キーを数回押しします。
4. 音量コントロールを反時計回りまたは時計回りに回して、**LO** から **DX** またはその逆に切り替えます。
5. **MENU** キーを数回押して、メニューを終了します。

OULXBER,0002A1B-40-10FEB16

放送局の保存

地域：	周波数バンド：				
	FM	AM	WX	MW	LW
NAFTA 各国	X	X	X		
ヨーロッパ	X			X	X
その他の地域	X	X			
メモリレベル：	FM1、FM2	AM	WX	MW	LW

手動保存

1. 必要なメモリレベルまたは周波数バンドを選択します。
2. 適切な局に合わせます。
3. 局キー 1~6 のいずれかを放送局の保存用を選択し、このキーを 2 秒以上押し続けます。
4. 選択した局キーに放送局が保存されるとすぐに、確認信号音が鳴ります。この放送局が選択されている間は、放送局の保存場所 (P3 など) が表示されます。

自動保存 (T-STORE)

注記：CommandCenter™ GS 4600 ディスプレイでは使用できません。機能はソフトウェア更新により変わる可能性があります。正規取扱店にお問い合わせください。

地域で最も強力な 6 つの放送局を自動的に保存できます。FM 周波数バンドの保存には FMT メモリレベルが使用され、AM 周波数バンドの場合は AMT メモリレベル (欧州ではさらに MWT と LWT) が使用されます。

注記：このレベルに既に保存されている放送局は、新しく検出された放送局に置き換えられます。

PTY が ON の場合は、現在選択されているプログラムタイプの放送局のみが保存されます。

1. 必要な周波数バンドを選択します。

2. **BND** キーを 2 秒以上押し続けます。
3. 保存が始まり、**T-STORE** が表示されます。プロセスが完了すると、メモリ位置 1~6 が放送局に割り当てられます。この保存は、保存が実行されたメモリレベル (FMT または AMT) でのみ有効です。

OULXBER,00029D3-40-10FEB16

保存されている放送局の選択

1. メモリレベルまたは周波数バンドを選択します。
2. 局キー 1~6 を押して、保存されている放送局のいずれかと呼び出します。

OULXBER,00029D4-40-10FEB16

保存されている放送局のスキャン (PRSTSCAN)

この機能により、現在のメモリレベルに保存されている放送局が次々にそれぞれ約 5 秒間再生されます。

スキャンの開始

1. ◀ キーまたは ▶ キーを押します。
2. **PRSTSCAN** が短時間表示されます。現在のメモリレベルに保存されている各放送局が約 5 秒間再生されます。同時に、選択されている周波数または局名が表示されます。

スキャンの停止

1. ◀ キーまたは ▶ キーを押します。
2. スキャンが停止され、最後に再生された放送局に留まります。

OULXBER,00029D5-40-10FEB16

利用可能な放送局の周波数帯のスキャン (BANDSCAN)

注記：この機能は、KEY PRG メニューで ◀ / ▶ キーに対して **BANDSCAN** が選択されている場合にのみ使用可能です (このセクションの「キー機能の設定」参照)。

スキャンの開始

1. ◀ キーまたは ▶ キーを押します。
2. **BANDSCAN** が短時間表示されます。現在の周波数バンドで利用可能な放送局が検索されます。検出された各放送局は約 5 秒間再生されます。同時に、選択されている周波数または局名が表示されます。

スキャンの停止

1. ◀ キーまたは ▶ キーを押します。

2. スキャンが停止され、最後に再生された放送局に留まります。

OULXBER,00029D6-40-10FEB16

プログラムタイプ (PTY)

一部の FM 局は、プログラムタイプに関する情報も送信しています。

プログラムタイプの例：

- CULTURE
- TRAVEL
- WEATHER
- JAZZ MUSIC
- NEWS
- POP MUSIC

PTY が ON の場合は、選択したプログラムタイプの放送局のみを選局できます。ラジオは、現在のステーションや別のモードから選択したプログラムタイプのステーションに自動的に変わります。

PTY の ON/OFF 操作

1. ラジオモードを選択します。
2. **MENU** キー押してメニューを開きます。
3. **PTY ON** または **PTY OFF** が表示されるまで、**MENU** キーを数回押します。
4. ボリュームコントロールを反時計回りまたは時計回りに回して、**PTY OFF** から **PTY ON** またはその逆に切り替えます。
5. **MENU** キーを数回押して、メニューを終了します。

プログラムタイプの選択

注記：PTY は ON になっている必要があります。

1. ラジオモードを選択します。
2. **MENU** キー押してメニューを開きます。
3. **PTYTYPE** が表示されるまで、**MENU** キーを数回押します。
4. ボリュームコントロールを反時計回りまたは時計回りに回して、プログラムタイプを選択します。
5. **MENU** キーを数回押して、メニューを終了します。

PTY スキャンの開始

注記：PTY スキャンは、PTY が ON になっており、KEY PRG メニューで ◀ / ▶ キーに対して AUTOSEEK または BANDSCAN が選択されている場合にのみ使用可能です (このセクションの「キー機能の設定」参照)。

1. ◀ キーまたは ▶ キーを押して、スキャンを開始します。

2. 現在選択されているプログラムタイプの放送局が見つかったと、その放送局が選局されます。
3. このプログラムタイプの放送局が見つからない場合は、前に選択されていた放送局のままになります。

OULXBER,00029D7-40-10FEB16

干渉している高音域のカット (HCUT)

HCUT 機能により、ラジオの受信状態が悪いときの音響が改善されます。受信状態での干渉がある場合は、干渉によるノイズレベルが自動的に削減されます。

1. ラジオモードを選択します。
2. **MENU** キー押してメニューを開きます。
3. **HCUT** と現在の設定 (**OFF**、**1**、または **2**) が表示されるまで、**MENU** キーを数回押します。
4. ボリュームコントロールを反時計回りまたは時計回りに回して、HCUT を調整するか OFF にします。
5. **MENU** キーを数回押して、メニューを終了します。

OULXBER,00029D8-40-09FEB16

キー機能の設定 (KEY PRG)

1 つの機能を ◀ / ▶ キーに割り当てることができます。

機能	説明
AUTOSEEK	利用可能な次の局を選局します。
MANSEEK	一度に 1 つの局だけ手動で選局します。
PRSTSCAN	現在選択されているメモリレベルで保存されている局をスキャンします。
BANDSCAN	現在選択されている周波数バンドで利用可能な局をスキャンします。

キー機能の設定

1. ラジオモードを選択します。
2. **MENU** キー押してメニューを開きます。
3. **KEY PRG** が表示されるまで、**MENU** キーを数回押します。
4. ボリュームコントロールを反時計回りまたは時計回りに回して、異なる設定間で切り替えます (表参照)。
5. **MENU** キーを数回押して、メニューを終了します。

OULXBER,00029D9-40-10FEB16

交通情報 (欧州のみ)

交通情報 (欧州のみ)

注記： 交通情報機能は NAFTA 各国では使用できません。

この機能は、北米向けプレミアムラジオでは使用できません。

この機能は、FM 周波数バンドがラジオモードで選択されている場合のみ、CD モードと AUX モードで使用できます。

交通情報優先の ON/OFF 操作

TA キーを押すと、すべてのモードに対して交通情報優先が ON または OFF になります。

TA または TP が表示されている場合は、交通情報優先が ON になっています。交通情報を受信すると、CD または他の出力が中断され、ラジオシステムが交通情報に切り替わります。交通情報の間は TRAFFIC が表示されます。

- 交通情報をブロードキャストしている放送局の送信範囲から出たとき、および交通情報を提供する代替局が自動スキャンで見つからないときは、再生音源に関係なく警報が鳴ります。

- 交通情報を提供する放送局から交通情報を提供しない放送局に切り替わったときに音響警報が鳴ります。

どちらの場合も、交通情報優先を OFF にするか、交通情報をブロードキャストする放送局を選局してください。

交通情報の音量の調整

1. ラジオモード (FM 周波数バンド) を選択します。
2. **MENU** キーを押してメニューを開きます。
3. **TA DIFF** と現在の設定が表示されるまで、**MENU** キーを数回押します。
4. 音量コントロールを反時計回りまたは時計回りに回して、値を DIFF 0 から DIFF 10 の範囲で調整します。この数字は、選択されている音量との関連で音量増分を表します。
5. **MENU** キーを数回押して、メニューを終了します。

注記： 交通情報がブロードキャストされる間、音量コントロールを使用してその間の音量を調整できません。

交通情報のキャンセル

TA キーを押すと、提供中の交通情報がキャンセルされ、前の出力音源に戻ります。交通情報優先は ON のままです。

OULXBER,00029DA-40-10FEB16

外部音源

外部音源

さまざまな外部音源をラジオの裏側にある AUX 入力から接続できます。例：ポータブル CD プレーヤー、MD プレーヤー、MP3 プレーヤー。

AUX 入力の作動

- 外部音源を接続し、ディスプレイに **AUX** が表示されるまで、**SRC** キーを数回押します。

注記：外部音源は、オーディオデバイスが外部 AUX 入力に接続されている場合にのみ選択できます。

AUX 入力音量の調整

接続された外部音源の音量は、ラジオモードの音量に調整できます。

注記：AUX 入力音量は、SRC キーを使用してこの入力を音源として選択した後でのみ調整できます。

- 必要な音源が表示されるまで、**SRC** キーを数回押します。
- MENU** キーを押します。**GAIN** と現在の設定が表示されます。
- 音量コントロールを左右に回して、音量を -9 と +9 の範囲で設定します。0 はラジオモードでの設定音量に対応します。
- MENU** キーを数回押して、メニューを終了します。

OULXBER,00029DB-40-09FEB16

MP3 の操作 (プレミアムラジオのみ)

MP3 の操作 (一般情報)

MP3、WMA 音楽ファイルは USB または Bluetooth® を使用して再生できます。USB については、「USB データキャリアの接続と MP3 モードの起動」を参照。Bluetooth® については、「オーディオファイルの再生 (BT AUDIO)」を参照。MP3 ファイルと WMA ファイルの操作は同じなので、このセクションでは、MP3 ファイルの再生についてのみ説明します。

オンライン音楽ショップから入手する、デジタル著作権管理 (DRM) 機能を備えた WMA ファイルは、このラジオシステムで再生できません。

WMA ファイルは、Windows Media Player™ バージョン 8 以降で作成されている場合のみ、問題なく再生できます。

OULXBER,0002D7B-40-13APR17

USB データキャリアの作成

ラジオシステムが USB データキャリアを認識するためには、大容量記憶装置として指定され、FAT16 または FAT32 ファイルシステムでフォーマットされている必要があります。オーディオファイルは MP3 または WMA フォーマットで保存する必要があります。

最大 5,000 トラック (ID3 タグなし) を USB データキャリアに保存し、使用することができます。ディレクトリとトラックは個々に選択し、再生できます。ID3 タグ付きのオーディオファイルを使用すると、使用可能なトラックの最大数が減ります。

市販の USB データキャリアがすべて適切に作動するかは保証できません。

OULXBER,0002A15-40-09FEB16

ID3 タグ

オーディオファイルには、アーティスト、トラック名、アルバム名などの追加情報 (ID3 タグ) が含まれる場合があります。このラジオシステムは、バージョン 1 とバージョン 2 の ID3 タグを表示できます。

OULXBER,0002A16-40-09FEB16

USB データキャリアの接続と MP3 モードの開始

USB データキャリア (USB スティック、USB ドライブなど) を接続するには、USB ケーブルを外部 USB ポートに接続する必要があります (車両の取扱説明書も参照)。

⚠ 注意： 互換性のない USB デバイスの既知のケースがあります。設計により、一部の USB データキャリアは USB ポートへの直接接続に適していません。けがを防止するため、USB データキャリアを追加の接続ケーブルだけで使用してください。

USB データキャリアを USB ケーブルに接続します。接続されるとすぐに、**SRC 12** キーを押すことで USB データキャリアを選択できます。**USB** が表示されます。

再生の経過時間と残り時間の表示

キープロックの **6** キーを押すと、現在のトラック再生の経過 (ELAPSED) 時間と残り (REMAIN) 時間が切り替わります。

トラック情報表示 (ID3 タグ)

オーディオファイルに ID3 タグが含まれる場合は、関連情報が各トラックの開始時にスクロールテキストとして 1 回表示されます。オーディオファイルに ID3 タグが含まれない場合は、ファイル名のみが表示されます。

注記：ID3 タグの作成については、PC MP3 ソフトウェアまたは CD 作成ソフトウェアの関連する説明も参照してください。

5 キーを押すと、トラック情報がスクロールテキストとして表示されます。現在のトラックの ID3 タグはスクロールテキストとして 1 回表示されます。

注記：スクロールテキストとしてのトラック情報表示が OFF の場合、この機能は使用できません。「スクロールテキストとしてのトラック情報表示の ON/OFF 操作 (SCRL)」を参照してください。

OULXBER,0002A18-40-13JUN17

トラック情報のスクロールの ON/OFF (SCRL)

1. CD モードまたは MP3/WMA モードを選択します。
2. **MENU** キー押してメニューを開きます。
3. **SCRL** と現在の設定 (**ON** または **OFF**) が表示されるまで、**MENU** キーを数回押します。
4. 音量コントロールを反時計回りまたは時計回りに回して、トラック情報によるスクロールテキストを ON または OFF にします。
5. **MENU** キーを数回押して、メニューを終了します。
6. **SCRL OFF** を選択した場合：各トラックの先頭で、トラックタイトルが表示/スクロールされます。次に、トラック番号と時間の両方がトラックの残りの再生時間中に表示されます。

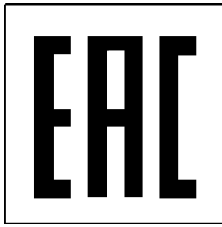
OULXBER,0002A19-40-10FEB16

MP3/WMA ファイルの再生

ディレクトリの選択	▲ キーまたは ▼ キーを押すと、上下の異なるディレクトリに切り替わります。この方法により、サブディレクトリにもアクセスできます。有効なオーディオファイルが含まれないデータキャリアのディレクトリはスキップされます。
トラック選択	▶ キーまたは ◀ キーを押すと、次のトラックまたは前のトラックが選択されます。 現在のトラックが 10 秒以上再生されている場合は、◀ キーを 1 回押すと再スタートします。
クイックスキャン (可聴)	◀ キーまたは ▶ キーを押すと、再生の早送りまたは早戻しが開始されます。必要な時点でキーを放します。
ランダム再生 (MIX ALL) (データキャリア上のすべてのトラック)	MIX ALL が表示されるまで、キーブロックの 3 キーを数回押します。 MIX が表示され、 MP3 データキャリア のすべてのトラックがランダムな順序で再生されます。
ランダム再生 (MIX DIR) (ディレクトリまたはフォルダのすべてのトラック)	MIX DIR が表示されるまで、キーブロックの 3 キーを数回押します。 MIX が表示され、 MP3 ディレクトリ のすべてのトラックがランダムな順序で再生されます。
MIX の停止	キーブロックの 3 キーを再度押します。 MIX OFF が短時間表示された後、 MIX は表示されなくなります。再生は正常に続行されます。
トラックのスキャン (SCAN TRK) (データキャリア上のすべてのトラック)	MP3 データキャリアのすべてのトラックがそれぞれ約 10 秒間ずつ昇順で再生されます。 SCAN TRK が表示されるまで、キーブロックの 4 キーを数回押します。
トラックのスキャン (SCAN FLD) (ディレクトリまたはフォルダのすべてのトラック)	MP3 ディレクトリのすべてのトラックがそれぞれ約 10 秒間ずつ昇順で再生されます。 SCAN FLD が表示されるまで、キーブロックの 4 キーを数回押します。 スキャンの停止、トラック再生の続行： キーブロックの 4 キーを再度押すと、スキャンプロセスが停止します。 SCAN OFF が短時間表示されます。現在のトラックの再生が続行されます。
トラックまたはディレクトリの繰り返し (RPT TRK)/(RPT DIR)	トラックの繰り返し： キーブロックの 2 キーを押します。 RPT TRK が短時間表示された後、 RPT が表示されます。 RPT が OFF になるまで、現在のトラックが繰り返されます。 ディレクトリの繰り返し： キーブロックの 2 キーを押します。 RPT DIR が短時間表示された後、 RPT が表示されます。 RPT が OFF になるまで、現在のディレクトリが繰り返されます。 繰り返しの停止： キーブロックの 2 キーを再度押します。 RPT OFF が短時間表示された後、 RPT は表示されなくなります。再生は正常に続行されます。
プレイリストからのトラックの再生	プレイリストが作成され、ルートディレクトリに保存されている場合は、PLST モードで再生できます。 PLST ON が表示されるまで、 TA キーを押し続けます。プレイリストの先頭トラックの再生が 2 秒後に開始されます。 複数のプレイリスト (すべてルートディレクトリ上) が使用可能な場合は、矢印キー ▲ と ▼ を使用して必要なプレイリストを選択します。プレイリストがデータキャリア上に保存されていない場合は、 TA キーを押し続けると、 NO PLST が表示されます。 PLST モードの間は、他のディレクトリにアクセスできません。ディレクトリを変更するには、PLST モードを OFF にする必要があります。 PLST OFF が表示されるまで、 TA キーを押し続けます。最初のディレクトリの先頭トラックの再生が 2 秒後に開始されます。
再生の一時停止 (PAUSE)	キーブロックの 1 キーを押します。 PAUSE が表示されます。 一時停止のキャンセル： キーブロックの 1 キーを押します。再生が続行されます。

Bluetooth® の操作 (プレミアムラジオのみ)

Bluetooth® の操作、一般情報



LX245298—UN—27JUL15

Bluetooth® 証明ラベル、ロシア向け

このラジオシステムには、組み込みの Bluetooth® モジュールが装備されています。ラジオ通信を使用すると、Bluetooth® により、ラジオシステムおよびペアリングされた近距離の Bluetooth® デバイス (携帯電話など) 間でのセキュリティで保護されたデータ転送が可能になります。

このラジオは次の機能をサポートします。

- Bluetooth® 機能の手動による ON/OFF。
- ラジオシステムと携帯電話間の永続的接続 (ペアリング)。
- 前にリンクされていた携帯電話との自動ペアリング (ラジオシステムの電源投入時)。
- ペアリングされた携帯電話の電話帳からの 252 の連絡先 (電話番号は各 4) のダウンロード。
- 転送された連絡先データの探索。
- 電話の受信と発信。
- オーディオファイルの再生。

北米向け規制

FCC ID : YBN-JD-BASE4

IC : 9595A-JD-BASE4

FCC Section 15.19、ラベル要件

この装置は、FCC (連邦通信委員会) Part 15 規制およびカナダ産業省ライセンス免除 RSS 標準に準拠しています。操作は次の 2 つの条件を前提としています。

1. この装置が有害な干渉を引き起こす可能性はありません。
2. この装置は、予期しない動作を引き起こす可能性がある干渉を含め、受信するあらゆる干渉を受け入れられること。

FCC Section 15.21、ユーザーへの情報提供

コンプライアンスの担当機関によって明確に承認されていない変更や改造を行うと、装置の操作に対するユーザーの権限が無効になる可能性があります。

メキシコ国内の規則

NOM-121-SCT1-2009

このシステムの作動は次の 2 つの条件を前提としています。

1. このシステムまたは装置が有害な干渉を引き起こすことがあってはなりません。
2. このシステムまたは装置は、好ましくない動作を引き起こす可能性のある干渉を含め、あらゆる干渉を受け入れる必要があります。

OULXBER,0002A0B-40-11FEB16

Bluetooth® の設定

Bluetooth® を使用する前に、次の手順を実行する必要があります。

1. Bluetooth® 機能の ON 操作
2. 接続の種類の選択 (電話 / オーディオ)
3. 携帯電話またはその他の Bluetooth® デバイスとのペアリング

携帯電話が正常にペアリングされるとすぐに、ラジオシステム経由での電話の受信と発信が可能になります。また、Bluetooth® デバイスに保存されている MP3 音楽ファイルをラジオシステム経由で再生できます。

OULXBER,0002A0C-40-10FEB16

Bluetooth® の ON/OFF 操作 (BT MODE)

Bluetooth® 機能は、各モード (ラジオ、CD、USB、AUX、XM) で ON または OFF にすることができます。Bluetooth® が ON のときは、対応する記号が点滅します。

注記 : Bluetooth® が ON でデバイスがペアリングされているときは、Bluetooth® 記号が永続的に表示されます。

1. **MENU** キーを押してメニューを開きます。
2. **BT MODE** が表示されるまで、**MENU** キーを数回押します。現在の設定 (**BT OFF** または **BT ON**) が表示されるまで、2 秒間待ちます。
3. 音量コントロールを反時計回りまたは時計回りに回して、Bluetooth® を ON または OFF にします。2 秒後に新しい設定が有効になり、Bluetooth® 記号が点滅し始めます。
4. **MENU** キーを押して **CON-TYPE** を開くか、現在選択されているモードに自動的に戻るまでしばらく待ちます。

OULXBER,0002A0D-40-09FEB16

接続の種類の選択 (CON-TYPE) とデバイスのペアリング (BT-PAIR)

Bluetooth® 電話と Bluetooth® オーディオをこのラジオ

システムで使用できます。選択は CON-TYPE メニューで行います。

注記： CON-TYPE は、Bluetooth® が ON (BT ON) の場合のみ表示されます。

接続の種類の選択 (CON-TYPE)

1. **MENU** キー押してメニューを開きます。
2. **CON-TYPE** が表示されるまで、**MENU** キーを数回押します。サブメニュー (**BT PHONE** または **BT AUDIO**) が表示されるまで、2 秒間待ちます。
3. 音量コントロールを反時計回りまたは時計回りに回して、**BT PHONE** または **BT AUDIO** を選択します。
4. **MENU** キーを押して次の **BT PAIR** メニューを開くか、**TA** キーを押してキャンセルします。

Bluetooth® デバイスのペアリング (BT-PAIR)

1. **MENU** キー押してメニューを開きます。
2. **BT PAIR** が表示されるまで、**MENU** キーを数回押します。サブメニュー (**VISIBLE** または **BT AUDIO**) が表示されるまで、2 秒間待ちます。さらに 2 秒後、**PIN XXXX** が表示されます (XXXX は個々のシーケンス番号を表します)。
3. 携帯電話対応の Bluetooth® で、New Device (新規デバイス) または BOSCH BT (設定済みの場合) を選択し、接続の検索を開始します。携帯電話の接続が確立されるとすぐに、PIN 入力のためのプロンプトが表示されます。
4. ここで、ラジオに表示されている番号 (XXXX) を携帯電話に入力し、必要に応じて確認します。
5. ペアリングに成功すると、Bluetooth® 記号と **PAIRED** が表示され、その 2 秒後に **BT JOIN** とペアリングされた携帯電話の連絡先名が表示されます。

注記： ペアリングに失敗すると、**NO PAIR** が表示され、ラジオシステムは直ちに前のモードに戻ります。新しいペアリングを開始できます。

7. 連絡先名が 10 秒間表示されてから、ラジオシステムはペアリングの前に選択されていたモードに戻ります。

OULXBER,0002A0E-40-10FEB16

現在接続されている Bluetooth® デバイス (BT-JOIN)

最大 5 台の携帯電話をラジオシステムとペアリングできます。最後に接続されていた携帯電話がいつも自動的に再接続され、**BT JOIN** に表示されます。ペアリング済みの別の携帯電話を接続する場合は、範囲内にある他のすべての携帯電話の Bluetooth® 機能を最初に OFF にする必要があります。また、必要な携帯電話をラジオシステムと再度ペアリングすることも可能です。

最大 5 台のデバイスをラジオシステムとペアリングで

きます。別のデバイスをペアリングすると、最も長期間保存されていたデバイスが削除されます。

OULXBER,0002A0F-40-10FEB16

電話帳データの転送とアクセス

電話帳データの転送：

ペアリングに成功すると、接続された携帯電話からラジオシステムに最大 252 件の連絡先 (電話番号は各 4 件) が転送されます。転送はバックグラウンドで自動的に行われます。このプロセスに関する情報はありません。Bluetooth® 記号の点滅が停止するとすぐに、ラジオシステム経由で電話データにアクセスできます。

電話帳データへのアクセス：

電話帳データ (電話番号、連絡先名など) はリストに保存されます。このリストは **SRC** キーを押し続けることで表示され、矢印キーを使用して検索できます。**SRC** キーを再度押すか、**MENU** キーを押すと、キャンセルされます。

1. **SRC** キーを 3 秒以上押し続けて、リストを開きます。
2. 最初の連絡先が表示されます。
3. ▶ キーを押すと、アルファベットの次の文字に進みます。
4. ◀ キーを押すと、アルファベットの前の文字に進みます。
5. ▼ キーを押すと、次の連絡先が表示されます。
6. ▲ キーを押すと、前の連絡先が表示されます。
7. **MENU** キー押してリストを閉じます。

注記： かかってきた電話は優先されます。リストは閉じられ、最後に選択されていたモードが表示されます。各通話の後、電話情報が更新されます。

OULXBER,0002A10-40-10FEB16

電話の受信と発信

ラジオシステムが携帯電話とペアリングされているときは、電話の受信と発信が可能です。

電話の受信

電話がかかってくると、着信音が鳴り、**CALL** が表示されます。2 秒後にディスプレイが切り替わり、発信者の連絡先名または電話番号が表示されます。関連情報が使用可能でない場合は、**PRIVATE NUMBER** が表示されます。

1. **BND** キーを押して、電話を受けます。(電話を拒否するには、**MENU** キーを押します)。
2. 必要に応じて、音量コントロールを使用して電話の音量を調整します。
3. **MENU** キーを押して、通話を終了します。

CALL END が 2 秒間表示され、ラジオシステムは現在選択されているモードに戻ります。

電話の発信

1. **SRC** キーを 3 秒以上押し続けて、連絡先リストを開きます。
2. 矢印キーを押して必要な連絡先を選択し、**BND** を押して接続を確立します。
3. 接続がいったん確立されると、**IN CALL** が表示されます。
4. 必要に応じて、音量コントロールを使用して電話の音量を調整します。
5. **MENU** キーを押して、通話を終了します。

CALL END が 2 秒間表示され、ラジオシステムは現在選択されているモードに戻ります。

ミュート機能：通話中に **ON/OFF** キーを短く押すと、マイク経由の音声伝送が抑制（ミュート）されます。**ON/OFF** キーを再度押すと、音声伝送が再開します。

注記：通話中にかかってきた電話は、着信音で通知されます。着信音が鳴りやんだ後、かかってきた電話は自動的に拒否されます。

OULXBER,0002A11-40-09FEB16

注記：Bluetooth® 記号の点滅がフェースプレートで停止するまで、オーディオソースは利用できません。

2. 音量コントロールを使用して再生音量を調整します。
3. 一時停止キー **||▶** を押すと、再生が一時停止します。一時停止キーを再度押すと、再生が再開します。この機能は、携帯電話 / プレーヤーでサポートされている場合のみ使用できます。

注記：再生 / 一時停止機能、およびトラックスキップ機能は、携帯電話やプレーヤーでサポートされている場合のみ利用できます。早送りや早戻しはサポートされていません。

4. **BT AUDIO** モード中に **ON/OFF** ボタン（ミュート）を短く押すと、スピーカー再生が中断されます。

注記：ペアリングされているデバイスの音量は、ラジオのオーディオ出力に影響を与えます。デバイスの音量の設定が低すぎる場合は、ラジオからのオーディオ出力が聴こえません。

注記：電話機能は **BT AUDIO** モードでも有効であり、音楽再生より優先されます。したがって、通話中の音楽再生は一時停止されます。

OULXBER,0002A12-40-13JUN17

オーディオファイルの再生 (BT AUDIO)

このラジオシステムは A2DP¹ Bluetooth® 標準をサポートします。携帯電話またはオーディオプレーヤーが A2DP もサポートする場合は、サポートされる MP3 音楽ファイルをラジオシステムにワイヤレス送信し、ステレオ品質で再生できます。再生のためには、**BT AUDIO** という接続の種類が **CON-TYPE** メニューで選択され、Bluetooth® デバイスがペアリングされている必要があります。ペアリングに成功した後、**SRC** キーを使用して **BT AUDIO** モードに切り替えて、音楽ファイルを聞きます。

デバイスとラジオとのペアリング：このセクションの「接続の種類の選択 (CON-TYPE)」と「デバイスのペアリング (BT-PAIR)」を参照してください。

ペアリング成功後：

1. **BT AUDIO** が表示されるまで、**SRC** キーを数回押します。トラックの再生が自動的に開始され、携帯電話 / オーディオプレーヤー設定に応じて、ファイル、ディレクトリの終わりまで、またはエンドレスに再生が続きます。トラック情報が使用可能で、**SCRL** が **ON** の場合は、情報がスクロールテキストとして表示されます。トラック情報が使用できない場合は、**TITLE UNKNOWN** が表示されます。

¹ A2DP (Advanced Audio Distribution Profile) は一般的に使用される転送テクノロジーであり、Bluetooth® を使用する互換性のあるレシーバにステレオ音声信号を転送できます。

SiriusXM® 衛星受信 (北米のみ)

SiriusXM® ラジオ、一般情報

John Deere (電話 1-866-635-2349) に連絡してキャンセルするまで、サービスは自動的に更新され、その時点の料金で請求されます。契約条件の詳細については、www.siriusxm.com で Customer Agreement を参照してください。他の料金と税金が適用されます。すべての料金とプログラムは変更される場合があります。XL では頻繁に露骨な言葉が使われたり、大人向けプログラムが提供される場合があります。Family Friendly パッケージについては、SiriusXM Listener Care (電話 1-800-967-2346) にお問い合わせください (カナダの場合は 1-877-438-9677)。XM 衛星サービスは、米国 48 州および D.C. の 18 歳以上の視聴者に対してのみ提供されます。プログラムスケジュールまたサブスクリプションの詳細については、www.siriusxm.com または www.siriusxm.ca (カナダ) をご覧ください。電話で申し込むこともできます。USA 連絡先: 1-800-967-2346、カナダ連絡先: 1-877-438-9677。

注記: SiriusXM® 衛星ラジオシステムと互換性のある受信機に組み込まれている、または SiriusXM® Web サイト、オンラインサービス、そのすべてのコンテンツをサポートするテクノロジーやソフトウェアを複製、逆コンパイル、逆アセンブル、リバースエンジニアリング、ハッキング、操作、または他の方法で利用可能にすることは禁止されています。さらに、この製品に組み込まれている AMBE® 音声圧縮ソフトウェアは、Digital Voice Systems, Inc. の特許権、著作権、企業秘密を含む知的所有権によって保護されています。

カナダ: 極端な北緯では一部のサービス低下が発生する場合があります。これは SiriusXM® 衛星ラジオによる制御範囲外です。

OULXBER,00029FC-40-09FEB16

XM シリアル番号の表示

1. メモ帳とペンを用意します。
2. XM が表示されるまで、**SRC** キーを数回押します。
3. 2 秒後に、チャンネル **CHN 0** が表示されます。
4. 次に **RADIO ID** が表示されます。さらに 2 秒後に、8 桁の XM シリアル番号 (1A2B3C4D など) が 10 秒間表示されます。
5. 番号を記録します。このコードは衛星ラジオサービスの申し込みに必要です。

注記: チャンネル 0 では、CHN 0 (2 秒)、ラジオ ID (2 秒)、シリアル番号 (10 秒) の間で交互に表示が切り替わります。チャンネル 0 である限り、この表示は繰り返されます。

OULXBER,0002A1C-40-11FEB16

XM ラジオモード

注記: XM は、北米プレミアムラジオのみで利用できます。CD なしプレミアムラジオ (米国) の場合、「XM 対応」であり、ラジオとは別に XM チューナーを購入する必要があります。

このラジオシステムには、衛星経由でデジタルラジオ局を受信する XM チューナーが装備されています (XM ラジオなど)。それぞれ最大 6 チャンネルの 3 つの XM バンド (XM1、XM2、XM3 メモリレベル) があり、6 つの局キーに割り当てることができます。

CAT 機能を使用すると、プログラムタイプ (カテゴリ) に応じてチャンネルを明確に選択できます。

注記: 衛星ラジオサービスは有料で、ユーザーは申し込み必要があります。申し込みにはレシーバのシリアル番号が必要です。このセクションの「XM シリアル番号の表示」を参照してください。

OULXBER,00029FD-40-11FEB16

XM ラジオモードの開始

ラジオシステムが現在別のモードになっている場合は、次の操作を行います。

XM とチャンネル番号 CHN X が表示されるまで、**SRC** キーを数回押します。

OULXBER,00029FE-40-09FEB16

XM バンドの選択 (メモリレベル)

工場初期設定として、XM1 バンドが設定されています。**BND** キーを押すと、メモリレベル間で切り替わります。

選択されている XM バンド名がディスプレイの左下に表示されます。

OULXBER,00029FF-40-11FEB16

XM チャンネルの選択

XM チャンネルは、左矢印ボタン ◀ と右矢印ボタン ▶ を使って選択できます。カテゴリ検索モードが有効な場合、選択したカテゴリに応じてチャンネルを利用できます。

- ▶ キーを押すと、次のチャンネルに進みます。
- ◀ キーを押すと、前のチャンネルに進みます。

選択したチャンネルの番号が表示されます。

OULXBER,0002A00-40-11FEB16

XM チャンネルの保存

XM チャンネルを局キーに保存する方法は、アナログラジオ局の保存とまったく同じです。

1. **BND** キーを押し、該当する XM バンドを選択します。
2. **▶** キーまたは **◀** キーを押して、必要な XM チャンネルを選択します。
3. 局キー 1~6 のいずれかを XM チャンネルの保存用を選択し、このキーを 2 秒以上押し続けます。

確認ビープ音は、選択した局キーに XM チャンネルが保存されたことを示します。

XM チャンネルの再生中、この XM チャンネルの保存場所 (P1 など) がディスプレイ左上に表示されます。

OULXBER,0002A01-40-09FEB16

保存されている XM チャンネルの選択

1. **BND** キーを押し、該当する XM バンドを選択します。
2. 該当する局キー 1~6 を押して、必要な XM チャンネルを選択します。

OULXBER,0002A02-40-11FEB16

XM チャンネルのカテゴリモードの ON/OFF (CAT)

1. **SRC** キーを押して、衛星モードに切り替えます (XM がまだ選択されていない場合)。
2. **CAT** が表示されるまで、**MENU** キーを数回押しします。
3. 音量コントロールを反時計回りまたは時計回りに回して、**CAT ON** または **CAT OFF** を選択します。
4. **MENU** キーを数回押して、メニューを終了します。

OULXBER,0002A03-40-11FEB16

XM チャンネルカテゴリの選択

XM チャンネルカテゴリ (ROCK、JAZZ、NEWS など) は、下矢印キー (▼) と上矢印キー (▲) を使用して選択します。

注記：プログラムタイプを選択するには、CAT が ON になっている必要があります。

- ▲ キーを押すと、次のカテゴリに進みます。
- ▼ キーを押すと、前のカテゴリに進みます。

OULXBER,0002A04-40-11FEB16

キー機能の設定 (KEY PRG)

XM ラジオモードでは、次のいずれかの機能を ◀ / ▶ キーに割り当てることができます。

CHNSEEK：XM チャンネルの手動増加

CHNSCAN：現在選択されている XM バンドで利用可能な XM チャンネルのスキャン

1. **KEY PRG** が表示されるまで、**MENU** キーを数回押しします。
2. 音量コントロールを反時計回りまたは時計回りに回して、CHNSEEK から CHNSCAN またはその逆に切り替えます。
3. **MENU** キーを数回押して、メニューを終了します。

OULXBER,0002A05-40-11FEB16

システム情報

XM ラジオモードでは別の不具合が発生する可能性があります。ラジオシステムにより該当するエラーメッセージが表示されます。「エラーメッセージと不具合」(セクション 50) も参照してください。

OULXBER,0002A07-40-09FEB16

仕様

仕様

	標準ラジオ	プレミアムラジオ (EU)	北米向けプレミアムラジオ
作動電圧	12 V	12 V	12 V
出力	4 x 20 W (正弦波、4 Ω)	4 x 20 W (正弦波、4 Ω)	4 x 20 W (正弦波、4 Ω)
AUX 入力	2 x 2.0 V 実効	2 x 2.0 V 実効	2 x 2.0 V 実効
周波数バンド、NAFTA 各国			
FM	87.7 ~ 107.9 MHz	87.7 ~ 107.9 MHz	87.7 ~ 107.9 MHz
AM	530 ~ 1710 kHz	530 ~ 1710 kHz	530 ~ 1710 kHz
WX	162.4 ~ 162.55 MHz	N/A	162.4 ~ 162.55 MHz
周波数バンド、欧州			
UKW (FM)	87.7 ~ 107.9 MHz	87.7 ~ 107.9 MHz	87.7 ~ 107.9 MHz
MW	530 ~ 1710 kHz	530 ~ 1710 kHz	530 ~ 1710 kHz
LW	153 ~ 279 kHz	153 ~ 279 kHz	153 ~ 279 kHz
FM 周波数応答	30 ~ 15000 Hz	30 ~ 15000 Hz	30 ~ 15000 Hz
Bluetooth® 周波数帯	-	2400 Mhz ~ 2480 Mhz	2400 Mhz ~ 2480 Mhz
Bluetooth® 放射電力	-	Bluetooth® < 10 mW	Bluetooth® < 10 mW
Bluetooth® ヒント/制限	-	内蔵 Bluetooth® アンテナ実装済み	内蔵 Bluetooth® アンテナ実装済み

使用可能な周波数バンド (チューナーバンド) :

- EUROPE (欧州)
- NAFTA (北米)
- SOTHAMRC (南米)
- MESTAFRC (中東 / アフリカ)
- APAC (アジア太平洋、日本を除く)
- TAIWAN (台湾)
- PHILIPIN (フィリピン)

- AUSTRALNZ (オーストラリアとニュージーランド)

OULXBER,0002D7C-40-25APR17

製品識別番号と SiriusXM® シリアル番号

この取扱説明書の「XM シリアル番号の表示」も参照してください。

ここに数字を記録してください。

ラジオモデル名 (識別図を参照)

ラジオ識別番号、「XM シリアル番号の表示」を参照:

SiriusXM® シリアル番号、「XM シリアル番号の表示」を参照

OULXBER,0002A09-40-11FEB16

エラーメッセージと故障

衛星受信中のエラーメッセージ (北米のみ) :	
SATUPDAT	暗号化コードの更新中。
NO SIGNL	信号がないか、弱すぎる。このエラーメッセージは、信号が十分な強度になるまで表示されます。
LOAD SIGNL	音声信号の解読失敗。チャンネルを切り替えます。
OFF AIR	選択されたチャンネルがブロードキャストされていない。チャンネルを切り替えます。
CH UNAVL	選択したチャンネルが使用できなくなった。ラジオシステムは前のチャンネルに自動的に切り替わります。
XM チューナー	外部チューナーボックスがラジオと通信していない。チューナーボックスへのヒューズ、配線、電源を確認してください。

衛星受信中のエラーメッセージ (北米のみ) :	
XM アンテナ	XM 衛星アンテナが信号をチューナーボックスに送信していない。接続を点検してください。
— — —	アーティストまたはトラック情報がない。該当する情報を受信するまで、このメッセージが表示されます。

ラジオおよびファイルの再生 - 故障 :	
ラジオが地域内でブロードキャスト中の放送局がない周波数に切り替わる。	地域内で使用可能な周波数バンドに受信機を設定する必要があります。John Deere™ 取扱店でラジオに正しい周波数バンドを設定してもらいます。
AUX 音源が使用できない。	AUX 音源は、それぞれのポートに入力デバイスが接続されている場合のみ表示されます。問題が発生した場合は、プラグ、ケーブル、入力デバイスのスイッチを点検します。
Bluetooth® ハンズフリーデバイスの使用時に音声品質が悪い。	エアルーバーによってファンの空気がマイク方向に流れていないことを確認します。電話のバッテリー電源が低すぎる場合は、充電ケーブルを接続します。Bluetooth® デバイスの音量を高くします。Bluetooth® デバイスのイコライザを有効にします (装備されている場合)。
メッセージ「BLOCKED」の表示	オーディオ再生が不可能。権限のない使用を防止するため、ラジオがロックされています (anti-theft が ON)。John Deere™ 販売店でラジオをロック解除してください。
メッセージ「DEF ERR」の表示	USB デバイスの問題。ファイル形式が正しくありません。USB デバイスの互換性がない

OULXBER,0002D9D-40-13JUN17

適合宣言

Robert Bosch Car Multimedia GmbH は、以下に示すラジオ機器タイプが指令 2014/53/EU (Annex VII) に準拠していることをここに宣言します。

- John Deere Base 1 US (標準ラジオ)
- John Deere Base 3 US/EU (CD 付き標準ラジオ)
- John Deere Base 4 EU (プレミアムラジオ EU)
- John Deere Base 4 US (北米向けプレミアムラジオ)
- John Deere Base 5 (CD なしプレミアムラジオ (米国))

EU 適合宣言の全文は以下のインターネットアドレスでご確認いただけます。

<http://cert.bosch-carmultimedia.net>

関連する国の 2014/53/EU の全文 :	
国	指令
エストニア	2014/53/EL
リトアニア ラトビア	2014/53/ES
オーストリア チェコ共和国 ドイツ デンマーク フィンランド 英国 クロアチア ハンガリー アイルランド	2014/53/EU

オランダ スウェーデン スロバキア	
ベルギー スペイン フランス イタリア ルクセンブルグ マルタ ポーランド ポルトガル ルーマニア	2014/53/UE
キプロス ギリシャ	2014/53/E E
ブルガリア	2014/53/E C

Bluetooth® 仕様

周波数帯	2400 Mhz ~ 2480 Mhz
放射電力 (EIRP)	Bluetooth® < 10 mW
ヒント/制限	内蔵 Bluetooth® アンテナ実装済み

OULXBER,0002C51-40-25APR17

Bluetooth は Bluetooth SIG の商標です。

ユーラシア経済連合



EAC マーク

TS1738—UN—26APR16

この情報は、ユーラシア経済連合加入国の EAC 適合マークを表示した製品にのみ適用されます。

メーカー：

Deere & Company, Moline, Illinois U.S.A.

ユーラシア経済連合における正式代表者の名称：

有限会社

「John Deere Rus」

正式代表者の住所：

142050, Russia, Moscow region, Domodedovo district,
Domodedovo, Beliy Stolbi micro district, vladenye
“Warehouse 104”, Building 2

技術的なサポートについては、お近くの取扱店にご相談ください。

製造日付は、製品のシリアル番号プレート上またはその近くに記載されています。

DX,EAC-40-27APR16

索引

B	
Bluetooth® の起動 (BT MODE)	35-1
Bluetooth® の設定	35-1
Bluetooth® 経由のオーディオファイルの送信	35-3
Bluetooth®, オーディオファイルの再生 (BT AUDIO)	35-3
Bluetooth®, データ転送	35-2
Bluetooth®, デバイスのペアリング (BT-PAIR)	35-1
Bluetooth®, 電話データの転送と探索 (データ転送)	35-2
Bluetooth®, 電話の受信と発信	35-2
M	
MP3 モードの開始、USB データキャリア	30-1
MP3、CD の操作 (一般情報)	30-1
MP3、ID3 タグ	30-1
MP3、USB データキャリア	30-1
MP3/WMA ファイルの再生	30-2
O	
ON/OFF 操作	10-2
R	
RDS 機能の ON/OFF	15-2
S	
SiriusXM™ ラジオ、一般情報	40-1
U	
USB データキャリアの作成	30-1
W	
WMA、CD の操作 (一般情報)	30-1
X	
XM シリアル番号、表示	40-1
XM シリアル番号の表示	40-1
XM チャンネル、保存されているチャンネルの選択	40-2
XM ラジオモード	40-1
き	
キー機能の設定 (KEY PRG)	15-4
さ	
サーチ感度	15-2
サーチ機能、感度	15-2
と	
トラック情報、スクロール機能の ON/OFF	30-1
トラック情報のスクロールの ON/OFF	30-1

トラック情報表示	30-1
ふ	
プレミアムラジオ	
外部オーディオソース	10-4
プログラムタイプ	15-4
フロント / リア音量配分の調整	10-3
ら	
ラウドネス ON/OFF 操作	10-3
ラジオのミュート	10-2
ラジオモードの開始	15-2
ラジオレシーバの設定	15-1
ラジオ受信、基本設定	05-1
ラジオ受信のための基本設定	05-1
ラジオ照明の輝度調整	10-2
漢字	
衛星受信、XM シリアル番号	40-1
衛星受信、XM チャンネルの選択	40-1
衛星受信、プログラムタイプの選択 (カテゴリ)	40-2
音楽ファイルの再生	
MP3	30-1
WMA	30-1
音響の調整	10-3
音響設定の復元	10-3
音量調整	10-2
外部オーディオソース	
USB 入力	10-4
外部音源	25-1
AUX 入力	10-4
確認ビープ音 ON/OFF 操作	10-2
干渉している高音域のカット (HCUT)	15-4
交通安全	05-1
交通情報	20-1
国ごとの設定	15-1
左 / 右音量配分の調整	10-3
作業の安全	05-1
仕様	50-1
時間の調整	10-4
時計	10-4
時計のリセット	10-4
時計の調整	10-4
周波数バンド / メモリレベルの選択	15-2
接続のための Bluetooth® デバイスの選択	35-2
接続の種類の選択 (CON-TYPE)	35-1
選局	15-2
電源投入時の最大音量の調整	10-3
電話の受信と発信、Bluetooth®	35-2
保存されている XM チャンネルの選択	40-2
保存されている放送局、選択	15-3
保存されている放送局のスキャン (PRSTSCAN)	15-3
保存されている放送局の呼び出し	15-3

保存されている放送局の選択	15-3
放送局の保存	15-3
利用可能な放送局のスキャン	15-3

